

こんにちは 日本共産党の 竹永みつえ です

発行
日本共産党岡山市議団
〒700-8544 岡山市北区
大供1-1-1 市役所内
TEL 086-803-1000
内線 2385
FAX 234-9388(直通)



6月議会、個人質問中の竹永議員

6月議会個人質問から

4月の統一地方選挙後、最初の6月定例議会で、竹永議員は地元の声、現場の声にこだわって質問しました。4期目も全力投球で頑張ります!! みなさんよろしくお祈りします。

～福祉・防災に強い東区を～

2) 福祉避難所は絶対必要!!

3・11の東日本大震災の直前に見直された市の防災計画では、あらたに福祉避難所が位置づけられました。竹永議員は福祉現場の経験をいかし、東区でふれあいセンターを拠点に福祉避難所と位置づけ、民間の福祉施設とも連携した校区ごとの計画を位置づけることが必要だと訴えました。岡山市の防災計画ではあらたに福祉避難所が位置づけられました。今回の東日本大震災でも6自治体が40箇所の福祉避難所を開設したと聞いています。

当初、健常者と同じ避難所で、障害のある方々は大変な思いをされていたと、うかがっています。バリアフリーではない避難所で車椅子の方は移動だけでも大変だった、精神障害者の方は大きな声をだすので避難所で嫌がられ夜中は親御さんが外をつれて歩いた、オスメイト装着者は洗う場所に困った、高齢者は補聴器をつけている方が多くハウリングを起こして伝達がつたわらない、発達障害のこどもさんはパニックをおこし、3階から飛びおりました、などさまざまなおこったそうです。いざというときのために計画の中で障害による予測される支障なども含めて細かく記述することが必要になります。市当局は「新たに位置づけた福祉避難所がより具体的になるよう地域の方々と連携しすすめていく」と答えました。

1) 民間との避難所協定をマニュアル化

3月11日の東日本大震災以降、防災に強いまちづくりの根底には医療・福祉、そして介護の強い絆作りの必要性が言われるようになりました。竹永議員は3月に仙台市を訪れ、避難所などで被災地の実態をみてきました。宮城県仙台市の高砂市民センターは、避難所ではありませんでしたが、地震直後1000人近い人が避難してきました。市の認定避難所でないという理由で、市からの支援物資がまったく届かないという実態の中、日ごろからのつながりをいかし、毛布や食物を集めて乗り切ったという報告を伺いました。自助、共助、公助の視点で、地域のネットワーク作りが日常的にできており、館長の強いリーダーシップで乗り切ったとのこと。判断力、組織力のあるリーダーの養成や地域のコミュニティづくりなど、多くの教訓を示してくれました。

東区は特に、高齢者比率の高い地域であり、西大寺中学校区では、街中はすでに30%以上という深刻な状況です。昼間の人口比にすると避難所は44%という、比率の高い地域です。しかし、昼間は、働き盛りの方々はほとんど、東区から外に仕事に行っており、昼間、区内に残されている方々は70歳以上か、小さな子どもさんをかかえたお母さんなど災害弱者の方々がばかりです。いざというとき、どうやってどこに逃げるのか、そのことまできちんと把握した地域ごとの防災計画が必要になると、竹永議員は議場で力強く訴えました。

そして、公的な場所だけでは限界があるため、いざというときの避難所や食料などの供出もふくめた民間との協定書をむすぶ必要性をもとめると市当局は、マニュアル作成で検討したいと答弁しました。

3) 緑花公園の防災機能は?



西大寺緑花公園には、耐震性緊急貯水槽(100㎡級、1基)、屋外非常用トイレ(9穴)防災備蓄倉庫(体験学習施設内、約23平方メートル)があり、防災公園としての機能も兼ね備えています。今回の震災で、液状化によって千葉の浦安市では耐震性の緊急貯水槽が飛び出て役に立っていません。(裏面写真①)竹永議員の指摘に、耐震対応や液状化対応は一応しているとの答弁でしたが、今回のような想定外の震災には対応不可能が実態です。

また、「いざというときのその利用の仕方など地域の方はご存じないのでは?」という竹永議員の質問に、市当局は「地域の方々への啓発や研修を行いたい」と答弁しました。

4) 東区役所・水道センター、消防署の移転に関して

旧カネボウ跡地の公用地に、現在西大寺駅前にある、東区役所、消防署、水道センターを移転建て替える方向で構想がすすんでいます。

まだ設計もこれからということですが、3つの施設をひとつにする複合施設になります。複合施設になるのであれば、今、西大寺愛郷会が運営管理している西大寺文化資料館も、一緒に入れないのか?と竹永議員は提案しました。

今、西大寺の貴重な文化資料は、西大寺愛郷会という地元の有志団体が管理し、西大寺文化資料館に掲示し運営してくれています。愛郷会の方々も高齢化がすすみ、持続的な運営が困難になる可能性があるとのことで、きっちりと市が保管、運営してほしい、そのためにも、この複合施設に資料館も入れてほしいという声があがっていました。今回の竹永議員の個人質問では、まだこれから設計の段階ですが、資料館など他の施設の機能を入れる計画はないという、そっけない答弁でした。

ただ、西大寺資料館や政田資料館のように、市の歴史的な資料を民間任せにしているという岡山市の文化行政自体が問題です。竹永議員は「この問題を引き続き教育委員会の文化の位置づけとして個人質問として引き続きとりあげるために頑張ります。」と言っています。

竹永みつえ市議の電子メール t@okjcp.jp ホームページ http://t.okjcp.jp/

被災地に行って!

1・浦安市 液状化の実態を視察して

我が党市議団で浦安市の液状化の被害の実態を視察しました。街全体がゆがんでいるような感じで、歩いていて軽い船酔いのような感じに襲われました。ここに住みつけなければいけない方々の体調も心配です。

地震用の貯水槽が私の背よりも盛り上がり地上に出てきています。我が地元カネボウ跡地の緑花公園にもこの形とは違いますが、貯水槽が埋まっています。いざというときにこんな風になることまでは考えて作っていないと思います。あらためて確認しないといけません。

震災から2ヶ月、応急処置がいたるところで見られました。この歩道橋の階段も一段増やしています。これだけ地面との差があったということですから…

想定外の液状化、国は東日本大震災を受けて、防災計画の数値を見直す予定です。岡山市もそれを受けて見直すとのこと。あらためて、科学的見地で見直し対策をとる必要があります。



2・仙台市

TVではあまり放映されない山側の被害を視察しました。宮城野区折立団地では地滑りがおこり、人が住める状態ではありません。しかし全壊の烙印をもらわないと何の補償もない、まだローンが残っているという状態では被害者の方は途方に暮れるしかありません。せめてローンをゼロにするなど国としての対応が求められます。東区も城東台や目黒台など高台の団地があるので、教訓にしないとイケないと感じました。

中野小学校は住宅密集地の中にある300人規模の学校で、被災当日は屋上に逃げ、夜を明かし次の日ヘリコプターで救済されました。日ごろの危機管理の啓発や防災訓練、地域とのネットワークなどで、助かった人数や、復興への道のりに温度差がでています。日ごろの街づくりが肝心です、視察したことを岡山市のまちづくりにいかしていこうと思います。



地元の要望にこたえて



岡山市東区広谷の歩道の真ん中の電柱が、歩行者、自転車に邪魔だとの指摘をうけて[昨年9月]やっと6月に撤去されました!

生活・法律相談しています。

西大寺中野の党事務所

☎086-942-1780

毎週月曜日 生活相談 午後6時半～
第三水曜日 法律相談 午後6時半～(弁護士もきます)

コープ西大寺診療所

☎086-944-0088

第四水曜日 午後6時半～(要予約)

上道の党事務所

☎086-297-9515

第二水曜日 午後6時半～

* 議会の日程の関係で急に中止になり場合がありますので事前にお電話を!

やったね!!

1) 住宅リフォーム助成制度 実現

中小企業の応援策として、住宅リフォーム助成制度の創設を求めていましたがこの6月議会で予算化されました。総事業費2000万円で 助成対象工事費の10% 上限5万円です。住宅リフォームに対する助成制度の創設 50万円のリフォームで5万円が助成されるということです。ぜひ積極的に利用してください。

2) DVのステップハウスが予算化!

夫やパートナーからの暴力の被害者が増えていきます。緊急避難所だけでなく、自立するまでの支援施設が必要です。この6月議会で、自立支援施設を運営している民間団体に助成ができるようになりました。よかったね!

3) 幼・小・中学校、すべての教室に扇風機を! 来年の夏までに!

すべての教室に扇風機を設置することが決まり、9月

から準備に入り遅くとも来年の6月くらいまでに設置予定! よかったね

4) 認知症コールセンターが設置されました。

☎086-801-4165

岡山市の委託を公益社団法人 認知症の人と家族の会が受けて行っています。なんでもご相談ください!

● 今期は、保健福祉委員会・ワークライフバランス調査特別委員会・議会改革等推進会議の委員でがんばります。